

# 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応ガイドライン

一般社団法人 日本女子ソフトボールリーグ機構

## 1. リーグ開催準備

【準備品について】 ※通常のリーグ運営に必要なものは除く

下記に関して、必要数をリーグ機構で手配する

- ① サーモメーター（非接触型体温計）：各会場最低2台をリーグ機構より持ち込み
- ② 消毒液：必要数量をリーグ機構で算出し、各会場に持ち込み  
※チームの受付で使用する分は、各チームで準備する
- ③ 感染予防対策備品（マスク、手袋、遮蔽板、フェイスシールドなど）
- ④ 感染予防対策啓発物（注意喚起パンフレット・ビラ・掲示物など）

【設営・撤去について】

- ① 健康状態に不安のある方は参加を自粛すること  
※参加者は健康状態申告書を提出する
- ② 設営・撤去時の人員はなるべく最小限で作業を行えるように工程を組むこと
- ③ 設営・撤去において、十分な時間を設定し密な空間の発生防止を行うこと
- ④ 運営スタッフに、十分な栄養摂取と睡眠確保を心がける等の健康管理を促すこと
- ⑤ 屋内で作業をする場合は、十分な換気を行うこと
- ⑥ 作業上困難な場合を除き、社会的距離（1メートルを基準）の確保に努めること
- ⑦ 原則としてマスクの着用、咳エチケット、手洗い消毒の徹底
- ⑧ 運営スタッフは、用具の使用を専有し共有をしないこと  
※止むを得ず共有しなければならない場合は、使用前後の消毒を徹底する

【運営スタッフ名簿について】

- ① リーグ運営に携わるスタッフの氏名及び連絡先を把握し名簿を作成・保管すること  
※個人情報保護の観点から、名簿等の保管は管理者を定め厳重に行う  
（保管期間：一ヶ月以上）

## 2. 公式試合開催判断について

- (1) 陽性（含む、判定保留）判定を受けた選手はただちに自主隔離する（A）
  - ・試合、チームトレーニングに参加しない
- (2) 保健所による濃厚接触指定を受けた選手は自主隔離する（B）
  - ・試合、チームトレーニングに参加しない

- (3) 保健所により保健所で濃厚接触者を判定できない場合、所定の検査により判断する  
(C)

※リーグが求めた場合、各種診断書を提出することとする。

- (4) 前述 (A) (B) (C) の該当者を除いたうえで、試合を開催することを原則とする。
- ・試合開催可否の決定は、ラウンドディレクター、両チーム代表者にて協議し、チェアマンが最終判断を下す。
  - ・各ポジションのベンチ登録人数が足りている（投手：2名、捕手：1名を含む合計13名）にもかかわらず、試合に参加をしないチームがあった場合、没収試合とし該当チームは不戦敗とする。なお、その場合の得点は0－0（リーグ特別ルール）とする。
  - ・なお上記の捕手とはリーグ指定の手順にて登録された捕手を指す。
- (5) 没収試合以外の試合は、延期・再試合とする。ただし、延期・再試合としたが試合日程の確保が困難な場合、当該試合は中止とする。

### 3. 公式試合管理

- (1) 大会関係者（参加チーム、競技役員、運営スタッフ、メディアなど）への対応

#### ① 入場制限

- a) 競技運営に直接携わらない関係者の来場を控える
- b) 来賓の方の入場は極力遠慮してもらう
- c) 運営スタッフ（審判員、記録員含む）の人数については、必要最低限に留める
- d) チーム関係者の来場人数についても、ベンチ入りメンバー以外を最小限に止める

#### ② 体調管理

参加当日の朝に体調不良（発熱、倦怠感など）である関係者は、来場を禁止する

#### ③ 感染予防

- a) マスク着用の徹底（プレー中の選手は例外）
- b) 入場の際に消毒液での手洗いを徹底する（各所に消毒液を設置）
- c) 球場の各諸室（トイレ、ロッカールームを含む）は、換気のため密閉を避ける
- d) 施設側と協力して、各諸室の消毒を徹底する
- e) 諸室内での運営関係者間の距離は、できるだけ社会的距離（最低1m）を保つ
- f) 会場への移動は、原則バスや車移動とし車内の換気を徹底する

- g) タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避ける
  - h) 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人はマスクや手袋をし、マスクや手袋を外した後は必ず手指消毒をする
  - i) 選手と観客との接触感染リスク低減のため、選手の会場入り動線を確保する
- ④ メディア取材対応
- a) メディアに対しては、報道受付にて取材マニュアルを配布し遵守させる  
(取材パスの発行、取材者名の記録、健康状態申告書の提出、エリア制限など)
  - b) 監督、選手の取材は、下記の条件が満たせる場合、対面での取材を可とする
    - ・喚起のよい場所を実施
    - ・聞き手／話し手とも原則全員マスクを着用する
    - ・選手とメディアの距離は2 m以上開ける
    - ・マイクは消毒する
  - c) bの条件が満たせない場合、オンラインで実施する  
ただし、代表取材1社のみは入出を許可する
  - d) 原則リーグ機構事務局側でコントロールするが、チームにも協力を頂く場合あり

## (2) 観戦者への対応

- ① 観戦者に発熱(37.5度以上)、咳、倦怠感、咽頭痛などの症状が見られる場合には観戦を遠慮してもらう ※ホームページ等で事前告知すること
- ② マスク着用の呼びかけを行う
- ③ 球場への入口等に消毒液を設置
- ④ 応援方法については、以下の行為を禁止する
  - a) ハイタッチ行為(接触感染リスク)
  - b) 肩組み飛び跳ね等集団での動きを伴う応援(接触感染リスク)
  - c) ジェット風船を使用した応援(飛沫感染リスク)
  - d) 指笛での応援(飛沫感染リスク)
  - e) トランペット、ホイッスルなどの鳴り物を使用した応援(飛沫感染リスク)
  - f) メガホンなどを使用した、大声の声援、応援(飛沫感染リスク)

### <可能な応援例>

- ・電子ホイッスル、拡声器の使用した応援
- ・プレーのたびの拍手
- ・応援団の太鼓リードによる応援

- ・応援タオルを横に広げて左右に振る、もしくは回す行為
  - ・フラッグを使用した応援（新聞紙大の手旗を振る）
  - ・ビッグフラッグや大型の応援旗を振る行為
- など

※吹奏楽等の応援・イベントは、主催者が指定したエリアにおいて、社会的距離（最低1メートル程度）を保ち、密接密集を回避できる場合のみ活動が可能。尚、移動時には主催者が指定した経路を使用すること。

- ⑥ 球場内外での飲食物の販売については球場管理者と相談
- ⑦ 喫煙所を設置する場合は密を避ける措置を施す

### (3) 競技上（練習含む）の留意点

- ① バット、ヘルメット、グローブ、打撃用手袋、ロジンバッグなどは各選手が使用し、可能な限り他の選手との共用を回避するように努め、共用せざるを得ない用具については、こまめに消毒を行う
- ② 唾を吐く行為を禁止する
- ③ 選手、特に投手は指を舐めてはいけない
- ④ 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体的接触を避ける
- ⑤ グラウンドレベルでの円陣は控える
- ⑥ ベンチ内での選手間の距離は、できるだけ2m（最低1m）確保する
- ⑦ ベンチ内には消毒液を設置する
- ⑧ ベンチ内から声援や指示を出す場合は、対人距離に注意する
- ⑨ 試合前の打順表最終確認の際は、可能な限りお互いの距離を取り、監督、審判の握手は行わない
- ⑩ 球審はマスクもしくは飛沫防止用シールドを着用する
- ⑪ 球審は捕手に触れてはいけない
- ⑫ 監督、コーチが審判に近づく際は社会的距離の確保につとめる
- ⑬ 試合開始時の整列及び礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、その場で礼をして行う。試合終了時も同様の形態とする
- ⑭ タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避ける

### (4) その他の対応

- ① 問題（クラスター発生、基本的対策の不徹底等）が発生した場合は、関係機関に報告すると共に直ちにホームページ等で情報開示する

#### 4. 観客管理

##### 【入退場口管理】

- ① 観客入場口を必要最小限に絞って、サーモメーター（非接触型体温計）を配備し、体温計測を行う  
※観客への検温対応は、リーグ機構（委託業者）が行うが、開催支部協会にも協力を仰ぐ場合あり  
※発熱（37.5 度以上）が検知された場合は、時間をおいてサーモメーターによる再計測（2 回）を行い、それでも 37.5 度以上の場合はお引き取り頂く  
※観客用サーモメーターの手配は、リーグ機構（委託業者）が行う
- ② 発熱等、健康状態に問題のあった場合には、入場をお断りする  
※入場券の払い戻しは、原則行わない
- ③ 入場時にマスク着用を呼びかけ、着用していない方へマスクの配布（販売）を行う
- ④ 各入口への消毒液の設置。 ※残量管理と補充も行う
- ⑤ 入場に際して行列ができる場合を想定して、並ぶ間隔のマーキングを施す
- ⑥ 入場口付近の目立つ場所に、感染予防を促す（マスクの着用、手指消毒の励行、社会的距離（最低 1 メートル）確保、大声での発声および声援の禁止）掲示を行う
- ⑦ 接触確認アプリ（COCOA）のインストールを推奨する掲示を行う
- ⑧ 観戦後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症に罹患した場合は、主催者（日本女子ソフトボールリーグ機構）または開催支部協会へ連絡して頂く旨の放送・掲示を行う
- ⑨ 試合終了後には、退場専用口を開放するなど、密を起こさない工夫をする
- ⑩ 入場する際、氏名・連絡先・座席番号等を記入する用紙およびペンを渡し、退場の際に BOX 回収を行う  
※配布・回収作業はリーグ機構（委託業者）が行うが、開催支部協会にも協力を仰ぐ場合あり  
※上記にて取得した個人情報、リーグ機構が管理者を定め厳重に保管・廃棄を行うこと（保管期間：一ヶ月以上）

##### 【当日券販売】

- ① 現金の授受はトレーを介して行う
- ② 窓口に消毒液を設置し、小まめな手指消毒を促す
- ③ 販売員は、マスク・手袋を着用する  
※対面する場合は、遮蔽板やフェイスシールドを使用  
※手袋を着用しない場合は、手指消毒を小まめに行う
- ④ 観客入場者数が観客席数を超えないように、販売を管理する

##### 【入場検札（チケットもぎり）対応】

- ① 原則、入場券のもぎりは、その場で入場者本人に行ってもらい、半券は回収箱等に直接投入してもらう

- ② 再入場希望者については、一時退場時に本券に目印を入れるが、その際に接触感染を起ささないような作業工程とする
- ③ 対応スタッフは、本券の確認（目視）作業のみとする
- ④ 対応スタッフは、マスク・手袋を着用する  
※対面する場合は、遮蔽板やフェイスシールドを使用  
※手袋を着用しない場合は、手指消毒を小まめに行う

#### 【観客席管理】

- ① 観客席での試合観戦の妨げにならない各所にマスクの着用、手指消毒の励行など感染予防を促す掲示を行う
- ② 試合前後・イニング間に於いて、放送やスコアボードを使用して、マスクの着用、手指消毒の励行など感染予防の呼びかけを行う
- ③ 観客席に整備員を配置し、感染予防や応援ルール等に関する声掛けを行う  
※チーム応援団席はチームに遵守してもらえよう事前に依頼する
- ④ 来場者より感染が出た場合のリスク軽減のため、一般観客席、チーム応援席、関係者席、報道席等のエリア分け（ゾーニング）を行う  
※バックネット裏のアナリスト席もゾーニングし、密にならない工夫を施す
- ⑤ 政府及び各開催都道府県の方針により、観客席数の制限がある場合、チーム来場者数と一般来場者数の収容上限人数を決め、主催者（日本女子ソフトボールリーグ機構）はチーム事務局へ事前に連絡する  
※チームは、決められた入場者数を超えないよう管理すること
- ⑥ 日ごとの興行終了時には、使用した観客席の消毒を行うこと  
※消毒作業は、リーグ機構にて行うが、開催支部協会にも協力を仰ぐ場合あり

### 5. 会場管理

#### 【諸室】

- ① 諸室内は、十分な換気を行う ※出入口の扉は、原則、常時全開
- ② テーブルや椅子の配置を工夫して、社会的距離（最低1メートル）を保つ
- ③ 事業用品や事務用品は共有しない  
※止むを得ず共有しなければならない場合は消毒を徹底する
- ④ 常時マスクを着用し、大声をあげない
- ⑤ 不特定多数が触るドアノブ、テーブル等は、小まめに消毒を行う

#### 【関係者・報道関係者受付】

- ① 対応スタッフは、マスク・手袋を着用する  
※対面する場合は、遮蔽板やフェイスシールドを使用  
※手袋を着用しない場合は、手指消毒を小まめに行う
- ② 受付には、サーモメーター（非接触型体温計）を設置し、体温計測を行う
- ③ 来場者には、健康状態申告書を記入・提出してもらう  
※健康状態申告書を提出して頂いた当日は、その後の検温は不要とする

- ④ 受付に消毒液を設置し、小まめな手指消毒を促す
- ⑤ 報道関係者には、取材ルール遵守と共に健康状態申告書を記入・提出を義務付け、球場内でのマスク装着を義務づけ、非装着時入場不可の徹底をする
- ⑥ 健康状態申告書は、個人情報保護の観点から、リーグ機構が管理者を定め厳重に保管する（保管期間：一ヶ月以上）

#### 【チーム応援者受付】

- ① チーム受付担当者には、以下のことを実施して頂く
  - ・対応スタッフは、マスク・手袋を着用する
    - ※対面する場合は、遮蔽板やフェイスシールドを使用
    - ※手袋を着用しない場合は、手指消毒を小まめに行う
  - ・消毒液を設置し、小まめな手指消毒を促す（消毒液はチームで手配）
  - ・受付終了後、借用した備品等の消毒（毎日）

#### 【トイレ】

- ① 観客、選手、運営スタッフのトイレは、極力分ける
- ② トイレには、石鹸（ポンプ型が望ましい）を常設する
- ③ ロールタオル、ハンドドライヤーは使用禁止
- ④ 不特定多数が触るドアノブ等は、小まめに消毒を行う

#### 【喫煙所】

- ① 十分な対人間隔が確保できる屋外スペースで、利用人数を制限した運用を行うこと
- ② 屋内の喫煙所は使用禁止とする

#### 【ベンチ】

- ① 野球場のダグアウトもベンチとして併用し、可能な限り社会的距離を確保できるように椅子を配置する
  - ※ソフトボール専用球場使用の場合は、別途協議
- ② ベンチ内に消毒液を常設し、小まめに手指消毒を行う
- ③ チーム入替時のベンチ内の消毒は、後から入るチームが行う

#### 【更衣室】

- ① 室内の十分な換気を行う ※必要に応じて扇風機・サーキュレーターを使用
- ② 室内が密とならないよう、使用者またはチームへの指示を徹底する
- ③ チームミーティングは更衣室内では行わない

#### 【選手動線】

- ① 選手の会場への出入りに際しては、一般観客と交わらない動線を確保する
  - ※会場毎に事前シミュレーションを行うこと
- ② 選手エリア（選手通用口、ベンチ、ダグアウト、更衣室、外野練習場など）には、チーム関係者以外はむやみに立ち入らない
- ③ 選手用トイレは、出来る限り専用化する（仮設トイレでも可）

#### 【物販・飲食関係】

- ① 出店業者には、各業界のガイドラインに沿った形での運用を依頼する

## 6. イベント管理

### 【ファンサービス】

実施不可のファンサービスは以下の通りとする。

- ・選手との直接の接触、声かけ
- ・選手とのハイタッチ、握手
- ・観客からのプレゼントを受け取る行為
- ・サインボールの投げ込み
- ・サイン会

※ファンが試合前／試合終了後にグラウンドに降りる場合は、社会的な距離を保ち、密接密集を避ける。また、選手との直接の接触は行わないよう管理する

### 【始球式】

- ① 社会的距離の確保を常時意識し、運営方法を検討する

※始球式等のイベントで記念撮影を行う場合は、密な状態とならないよう注意すること

- ② イベント前後の手指消毒を行う
- ③ 実施タイミングは、選手との接触を避けるためグラウンド整備の直後とする

### 【監督・選手インタビュー】 ※試合後のみの対応とする

- ① 試合後にインタビューを行う場合は、話し手・受け手とも専用マイクを準備する

## 7. その他

### 【試合関係】

- ① 選手交代時、球審への選手交代ボードの受け渡しは行わず、スコアラー等が放送室・記録員室前まで運び提示する
- ② 試合前の打順表提出・コイントスについては、極力屋外にて行う
- ③ 試合前の用具検査を行う際、審判員は手袋を着用して行う

### 【定期検査】

- ① リーグ関係者・各チームは、月1度の所定の検査（PCR検査もしくは抗原定量検査）を行い、リーグ機構へ報告すること

以上

2022年3月18日作成